



6月を迎え

校長 森田 英宏



木々の緑が鮮やかな季節となりました。

運動会では、たくさんの方々の応援をいただき、子供たちは一人一人が全力を出し切って活動することができました。当日に至るまでの準備や練習も含め、きっと、自分のいいところ、友達のいいところに気付いてくれたことと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、本当にありがとうございました。

交通安全の防止について

県警の統計から、小学生の交通事故には、次のような特徴があるようです。

- 発生時間帯では、午後3時～5時(下校途中や帰宅後の外出時)が最も多い。
次に午前6時～8時(登校途中)が多い。
- 月別発生件数は、6月が最も多い。
- 歩行中の事故は、飛び出しが原因になることが多い。
- 自転車では、交差点での安全確認が不十分なことや一時停止しなかったことが原因になっている。
- 自転車の事故は、中学年(3、4年生)に多い。
- 自転車の事故で、ヘルメットを着用していた子供は25%以下。(中学生は約50%)



* ちなみに、小学生は、歩道を自転車で通行してもよいことになっていますが、その場合、歩道の中央から車道寄りの部分を通行しなければなりません。

本年度、交通事故の防止に一層力を入れたいと考えています。子供の「危険を察知し回避する力」は、「なぜ危険なのか」ということと「どうすればよいかという具体的な行動」を理解させることによって身に付いていくものです。関わる大人が機会を捉えて指導を重ねる必要があります。学校では継続した指導に努めます。各ご家庭でもご協力をお願いいたします。また、気になる子供の姿を見かけられたときは、遠慮なくお知らせください。

トピックス

話す言葉は同じでも

4年2組担任 森井 里香

4年生では、国語の授業で「話す言葉は同じでも」という学習をしました。学習した内容は、登場人物の話す言葉は同じですが、言い方や態度、表情などによって受ける側の印象が違うというものです。

この学習では、①人の目を見て返答をすると、話した人が嬉しい気持ちになる、②言い方や表情で、話の印象が変わる、③間をおいて返答をすると、話の受け止め方が変わるというような意見が出ました。

当たり前のようなことですが、まだ定着していない児童もおり、それが原因で言い合いになることもあります。

私たち大人でさえできていないことがあるかもしれません。子供たちが自然と人の目を見て、適切な話し方ができるよう、私たち大人がお手本になれたらいいなと改めて感じた授業でした。



運動会

スローガン

感謝の気持ちで、力いっぱい つっぱしれ!

今回は、グラウンド改修工事が完了して初めての運動会。地域の皆さん、保護者の皆さんへのグラウンドお披露目の意味も込め、全員でのラジオ体操第一と、低・中・高に分かれての全員リレーを行いました。全校児童が力いっぱい頑張りました。



グラウンド改修を記念して体育振興会から寄贈いただいたワンタッチテントは、来賓席として設置しました。

今後は、市体や連合運動会等の行事で大切にさせていただきます。ありがとうございました。

PTAの方々には、事前準備から当日早朝の会場設営、写真記録、バザー、募金、そして後片付けまで、大きな支えとなっていました。ありがとうございます。本当にお疲れ様でした。



全力で競技する子供たちの姿とともに、輝いていたのは、係として、てきぱきと動く高学年の子供たちでした。一人一人が、自分の仕事を理解し、スムーズで公正な競技進行を支えました。「自分たちが創る運動会」を感じることができました。これからも大切にしていきたい姿です。



『中田っ子応援2016』



リーダーを中心に、1年生から6年生ですが、心を一つにして取り組みました。



ま



>>>> 団長の一言 <<<<<

☆4位だったけど、みんなと協力できたし、迫力のある運動会ができたのでよかったです。みんなありがとう。〈赤団団長〉

☆団長を務められるか心配だったけど、今は、とても責任を感じられる仕事で、とてもやり甲斐があって、やってよかったと感じます。白団のメンバー全員と優勝ができたのでとてもよかったです。小学校生活最後の運動会は、とてもいい形で終えることができました。〈白団団長〉



☆団長になってみんながついてきてくれるか心配だったけど、本番近くなってくると、みんながしっかりついてきてくれたのでうれしかったです。〈青団団長〉

☆団長になって他の学年の人たちと仲よくなり、本番をむかえ、緊張していたけど、みんなの声を聞くと緊張がほぐれていき、みんながあきらめずに最後まで頑張ってくれて、ぼくはとてもうれしかったです。今年の運動会は最高に楽しかったです。来年もみなさん頑張ってください。〈黄団団長〉

大きな行事には、準備の段階から当日まで、時間とエネルギーが必要です。その分、やり終えたときには、子供たちの成長を実感することができます。何かとご苦勞いただいた保護者の皆さまはじめご協力くださった方々に心より感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。